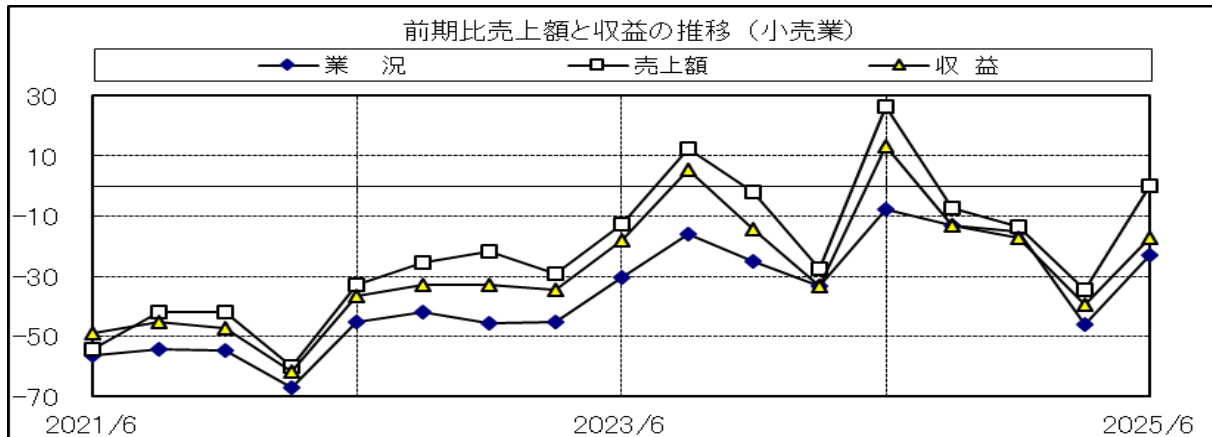


小 売 業 52 企 業（回答率 100%）の調査結果です

□ 景 況

DI 値 の推移	10～12 月 期 実 績	1～3 月 期 実 績	4～6 月期 実 績	7～9 月 期見通し
業 況	-15.1	-46.1	-23.1	-15.4
売上額	-13.3	-34.5	-0.1	-5.8
収 益	-17.3	-39.6	-17.2	-9.6

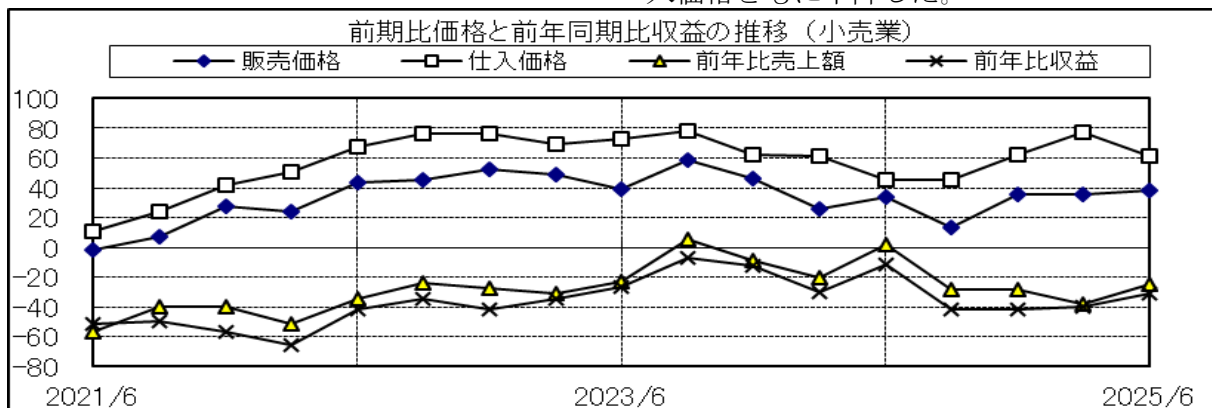
今期の業況判断 D.I. は△23.1 で、前期比 23.0 ポイント上昇。前年(△7.6)比では 15.5 ポイント下降した。地区別の D.I. は高い順に、静内が最も高く、次に、様似、浦河、広尾、えりもと続き、三石が最も低い水準となった。売上額判断 D.I. は△0.1 で、前期比 34.4 ポイント上昇。収益判断 D.I. は△17.2 で、前期比 22.4 ポイント上昇した。



□ 価格面の動き・前年同期と比べた動き

DI 値 の推移	10～12 月 期 実 績	1～3 月 期 実 績	4～6 月 期 実 績	7～9 月 期見通し
販売価格	35.8	35.7	38.6	38.5
仕入価格	62.2	77.3	61.6	53.9

販売価格判断 D.I. は 38.6 で、前期比 2.9 ポイント上昇。前年(34.0)比 4.6 ポイント上昇。仕入価格判断 D.I. は 61.6 で前期比 15.7 ポイント上昇。前年(45.2)比 16.4 ポイント上昇した。業種別では、衣料品は販売、仕入価格ともに上昇。食料品、家電品は販売価格は上昇、仕入価格は下降した。その他は販売、仕入価格ともに下降した。



□ 雇用面の動き

DI 値 の推移	10～12 月 期 実 績	1～3 月 期 実 績	4～6 月 期 実 績	7～9 月 期見通し
残業時間	1.9	-5.7	-3.8	-5.7
人手状況	-15.4	-17.0	-23.1	-17.3

残業時間判断 D.I. は△3.8 で、前期比 1.9 ポイント上昇し、残業時間が増加したとする企業割合が増えた。

人手過不足判断 D.I. は△23.1 で、前期比 6.1 ポイント下降し、人手不足感は強まった。

□ 設備投資の動き

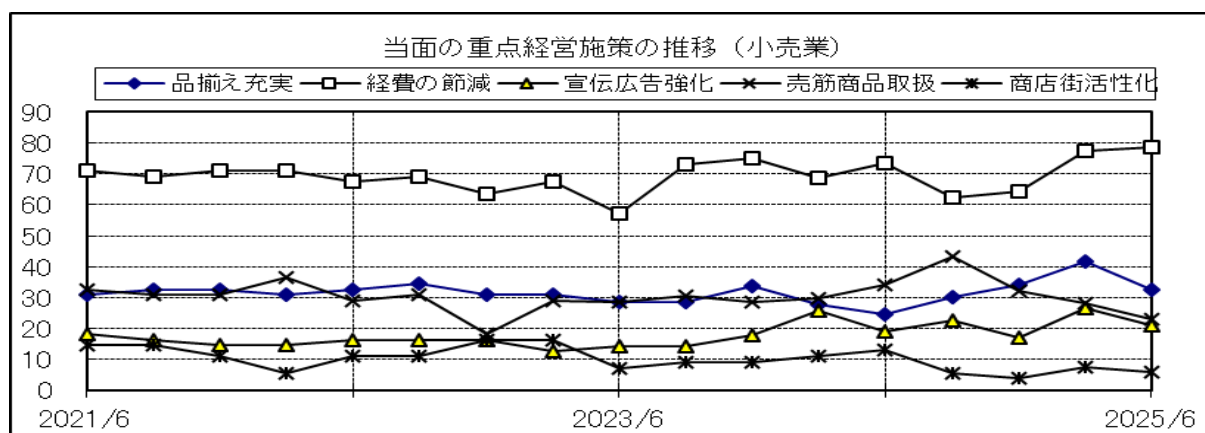
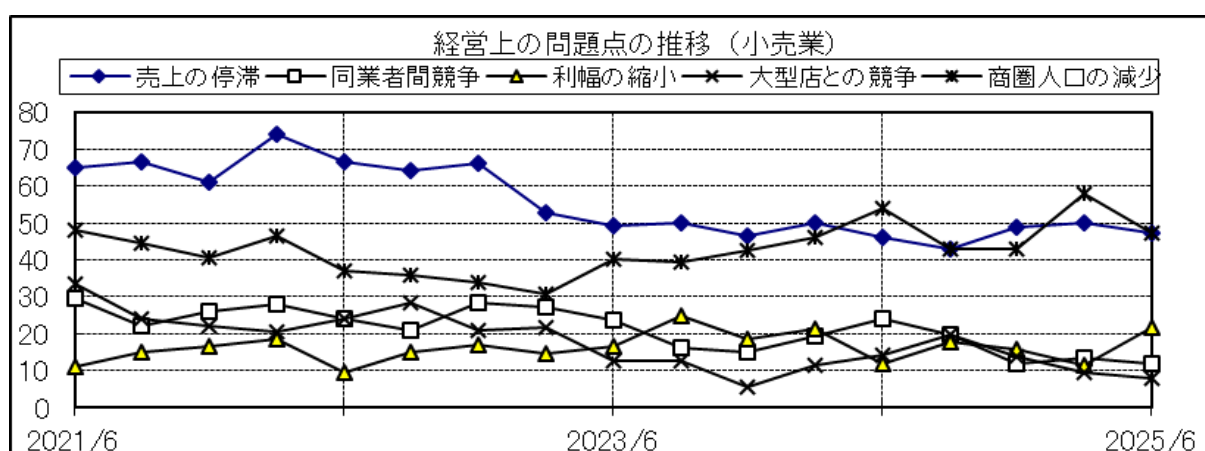
設備投資の充足感を示すD.I.は△5.8で、前期(△15.1)比9.3ポイント上昇した。

設備実施企業割合は7.7で、前期(1.9)比5.8ポイント上昇した。備投資は、前期1社に対し4社の実施となった。来期の設備投資は、1社の予定となっている。

□ 経営上の問題点と重点経営施策

経営上の問題点は、「売上停滞減少」・「商圈人口減少」が47.1%と最も多く、次に「値上要請」23.5%、「利幅縮小」・「取引先減少」・「商店街集客力低下」が21.6%、「人手不足」・「同業者競合」が11.8%、「人件費増加」・「地場産業衰退」が9.8%、「大型店競合」7.8%、「販売商品不足」・「諸経費増加」・「店舗狭隘老朽化」・「代金回収悪化」が5.9%、「取扱商品陳腐化」・「天候不順」が2.0%となっている。

重点経営施策では、「経費節減」が78.8%と最も多く、次に「品揃え改善」32.7%、「売れ筋商品取扱い」23.1%、「宣伝広告強化」21.2%、「仕入先開拓選別」11.5%、「人材確保」9.6%、「店舗設備改装」7.7%、「商店街活性化」5.8%、「営業時間延長」・「機械化推進」・「教育訓練強化」・「輸入商品取扱増加」が1.9%となった。



□ 来期の見通し

来期の予想業況判断D.I.は△15.4と、今期比7.7ポイントの上昇を見通している。

予想売上額判断D.I.は△5.8と、今期比5.7ポイントの下降を見通している。

予想収益判断D.I.は△9.6と、今期比7.6ポイントの上昇を見通している。

予想販売価格判断D.I.は38.5と、今期比0.1ポイントの下降を見通している。

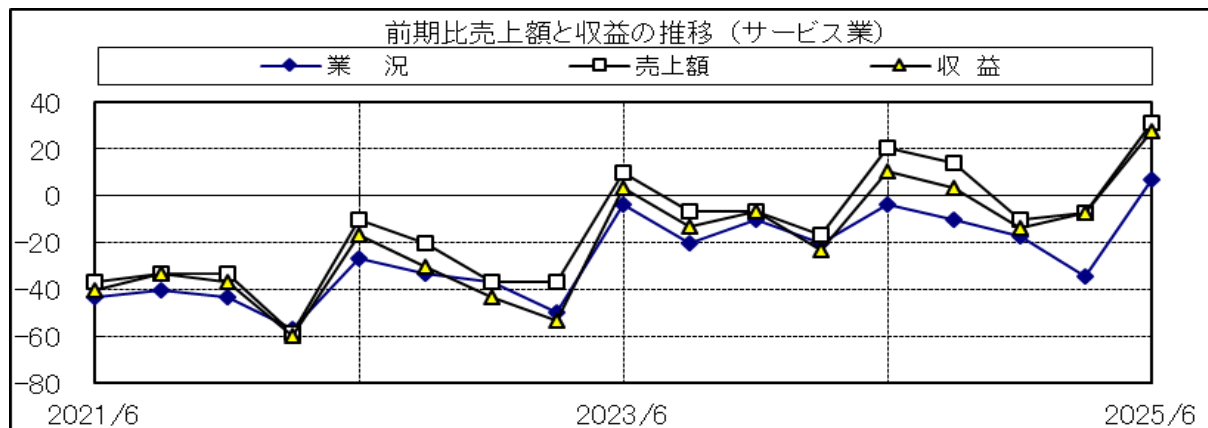
予想仕入価格判断D.I.は53.9と、今期比7.7ポイントの下降を見通している。

サービス業 29 企業（回答率 96.7%）の調査結果です

□ 概 況

DI 値 の推移	10～12 月 期実績	1～3 月 期実績	4～6 月 期実績	7～9 月 期見通し
業 況	-17.2	-34.5	6.9	-3.4
売上額	-10.3	-6.9	31.1	-3.4
収 益	-13.7	-6.9	27.6	-6.9

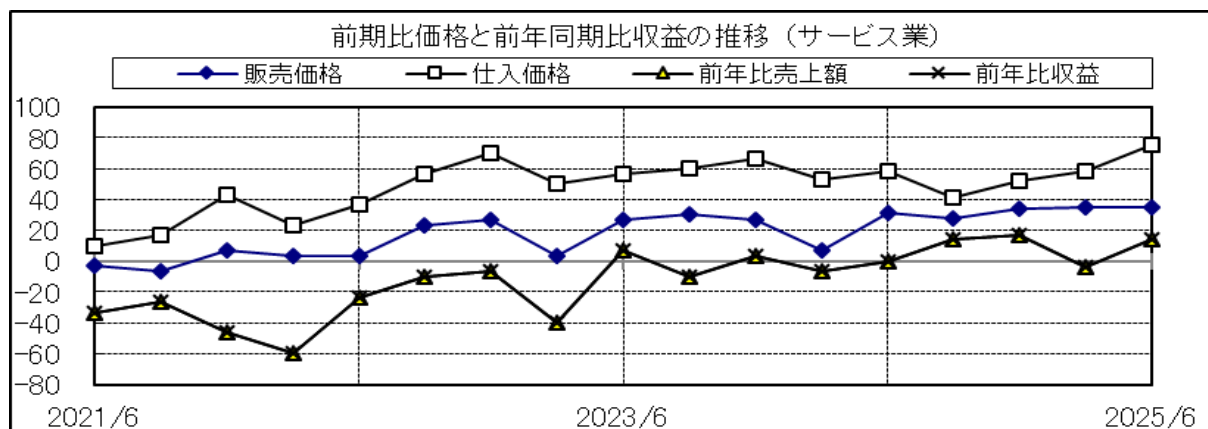
今期の業況判断 D. I. は 6.9 で、前期比 41.4 ポイント上昇。前年(△3.5)比では 10.4 ポイント上昇した。地区別の D. I. は高い順に、三石が最も高く、次に、静内、浦河、えりも、様似と続き、広尾が最も低い水準となった。売上額判断 D. I. は 31.1 で、前期比 38.0 ポイント上昇した。収益判断 D. I. は 27.6 で、前期比 34.5 ポイント上昇した。



□ 価格面の動きと前年同期に比した動き

DI 値 の推移	10～12 月 期実績	1～3 月 期実績	4～6 月 期実績	7～9 月 期見通し
料金価格	34.4	34.5	34.5	27.6
材料価格	51.7	58.6	75.8	48.3

料金価格判断 D. I. は 34.5 で、前期と同水準となった。前年(31.0)比 3.5 ポイント上昇した。材料価格判断 D. I. は 75.8 で、前期比 17.2 ポイント上昇。前年(58.6)比で 17.2 ポイント上昇した。業種別の料金価格は、旅館業、洗濯理美容業は下降、自動車整備業は上昇した。材料価格は、旅館業は下降し、洗濯理美容業、自動車整備業は上昇した。



□ 雇用面の動き

DI 値 の推移	10～12 月 期実績	1～3 月 期実績	4～6 月 期実績	7～9 月 期見通し
残業時間	3.5	-17.3	0.0	-10.4
人手状況	-20.7	-31.0	-24.1	-17.2

残業時間判断 D. I. は 0.0 で、前期比 17.3 ポイント上昇し、残業時間が増加したとする企業割合が増えた。

人手過不足判断 D. I. は△24.1 で、前期比 6.9 ポイント上昇し、人手不足感は弱まった。

□ 設備投資の動き

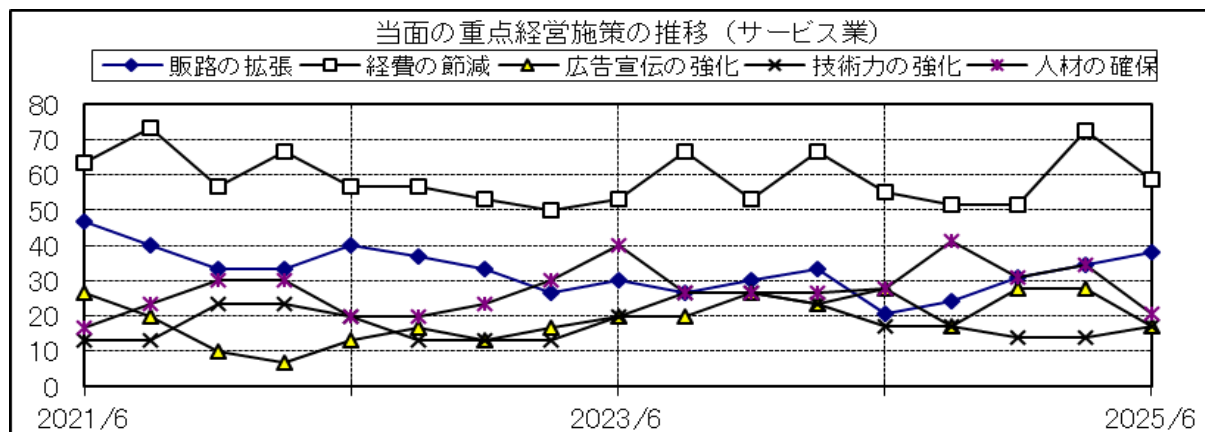
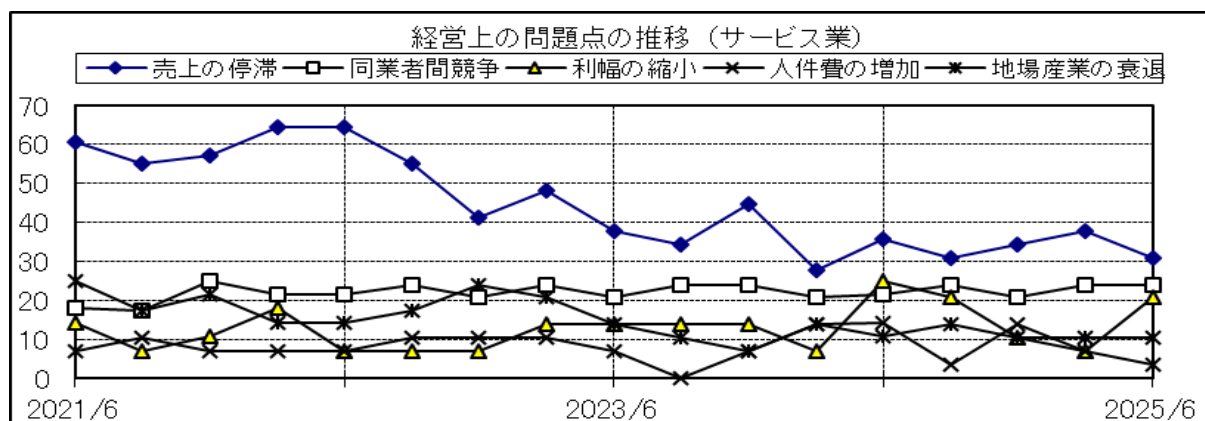
設備投資の充足感を示す D. I. は△13.7 で、前期と同水準となった。

設備投資実施企業割合は 10.3 で、前期比 6.9 ポイント下降した。設備投資は、前期 5 社に対し、3 社の実施となった。来期の設備投資は、3 社の予定となっている。

□ 経営上の問題点と重点経営施策

経営上の問題点は、「材料価格上昇」が 55.2% と最も多く、次に「商圈人口減少」37.9%、「売上停滞減少」31.0%、「同業者競争」24.1%、「人手不足」・「利幅縮小」が 20.7%、「取引先減少」13.8%、「店舗設備老朽化」・「地場産業衰退」が 10.3%、「大手企業競争」6.9%、「合理化不足」・「人件費増加」・「天候不順」が 3.4% となっている。

重点経営施策では、「経費節減」が 58.6% と最も多く、次に「販路拡大」37.9%、「人材確保」20.7%、「宣伝広告強化」・「技術力強化」が 17.2%、「教育訓練強化」13.8%、「店舗設備改善」・「提携先開拓」が 6.9%、「機械化促進」・「パート化」・「労働条件改善」が 3.4% となっている。



□ 来期の見通し

来期の予想業況判断 D. I. は△3.4 と、今期比 10.3 ポイントの下降を見通している。

予想売上額判断 D. I. は△3.4 と、今期比 34.5 ポイントの下降を見通している。

予想収益判断 D. I. は△6.9 と、今期比 34.5 ポイントの下降を見通している。

予想料金価格判断 D. I. は 27.6 と、今期比 6.9 ポイントの下降を見通している。

予想材料価格判断 D. I. は 48.3 と、今期比 27.5 ポイントの下降を見通している。